

日本台湾学会

第19回学術大会プログラム

2017年5月26日(金) - 27日(土) 於：京都大学稲盛財団記念館3階
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46

共催：(公財)日本台湾交流協会

5月26日(金)

受付開始：16:30- (場所：3階ロビー)
企画：17:00-19:30 (場所：大会議室)
「台湾研究の地域比較－台湾、日本、米国、欧州の経験交流－」

5月27日(土)

受付開始：08:50- (場所：3階ロビー)
分科会第I部：09:20-11:10
(場所：大会議室・中会議室・小会議室I・小会議室II・AAセミナー室(318))
分科会第II部：11:20-13:10 (場所：同上)
分科会第III部：13:20-15:10 (場所：同上)
シンポジウム：15:20-17:50 (場所：大会議室) 「轉型正義と台湾研究」
総会：18:00-18:40 (場所：中会議室)
懇親会：18:45-20:30 (場所：大会議室)

	第I部 (午前1)				第II部 (午前2)				第III部 (午後)				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
分科会	企画	自由論題	自由論題	自由論題	企画	企画	自由論題	自由論題	主催校企画	企画	自由論題	自由論題	自由論題
	文学	文学・人類学	歴史学	経済学・経営学	文学	歴史学・政治学	文学(原住民、新移民)	法学(労働法)	歴史学	文化人類学	教育学・社会学	法学・社会学	文学

*使用言語：原則として日本語。

2. 第19回学術大会プログラム

*****《第I部 09:20-11:10》*****

◇第1分科会（文学） 1セッション企画

「1950年代台湾での文学活動の再検討：新聞副刊と定期刊行物を手がかりとして」

◎企画責任者：張文菁（早稲田大学）

◎座長：垂水千恵（横浜国立大学）

◎報告：

・張文菁（早稲田大学）

「1950年代『聯合報』『大華晚報』『民族晚報』の副刊にみる連載小説」

・明田川聡士（横浜国立大学）

「『文友通訊』と戦後第一代作家：1950年代台湾文壇における“跨世代”作家たちの模索」

◎コメンテーター：黄英哲（愛知大学）、王恵珍（国立清華大学）

◇第2分科会（文学・人類学） 自由論題

◎座長：大東和重（関西学院大学）

◎報告：

・沼崎一郎（東北大学）

「台湾映画『セデック・バレ』をどう見るか——人類学的ポストインペリアル批評の試み（2）」

・白井魁（一橋大学・院生）

「呉濁流主宰『台湾文芸』第一回台湾文学賞選評から見る台湾文学再建の問題——王詩琅を中心に」

◎コメンテーター：藤井省三（東京大学）、河原功（台湾協会）

◇第3分科会（歴史学） 自由論題

◎座長：松本充豊（京都女子大学）

◎報告：

・野口真広（早稲田大学）

「戦間期日本帝国の植民地改革の可能性と挫折——英帝国統治からの影響を中心に——」

・林政佑（京都大学・院生）

「日本帝国の監獄教誨：台湾と朝鮮を中心に」

◎コメンテーター：金丸裕一（立命館大学）、松金公正（宇都宮大学）

◇第4分科会（経済学・経営学） 自由論題

◎座長：赤羽淳（横浜市立大学）

◎報告：

・国府俊一郎（大東文化大学）

「台湾外食産業における大卒若年労働者の雇用と賃金に関する一考察」

・朝元照雄（九州産業大学）

「台湾プラスチック・グループ（FPG）の勝利の方程式：世界第7位の石油化学グループへの道」

◎コメンテーター：佐藤幸人（アジア経済研究所）、岸本千佳司（アジア成長研究所）

2. 第19回学術大会プログラム

*****《第Ⅱ部 11:20-13:10》*****

◇第5分科会（文学） 1セッション企画

「性的マイノリティをめぐる語りの可能性：交差する当事者性を手がかりに」

◎企画責任者：劉靈均（神戸大学・院生）

◎座長：橋本恭子（一橋大学）

◎報告：

・劉靈均（神戸大学・院生）

「楊邦尼『毒菓』の「当事者性」論争について：「同志文学」と「馬華文学」の交差点」

・橋本恭子（一橋大学）

「胡淑雯『太陽の血は黒い』日本語訳刊行の意義：読みと語りの可能性を中心に」

◎コメンテーター：三木直大（広島大学）、三須祐介（立命館大学）

◇第6分科会（歴史学・政治学） 1セッション企画

「冷戦の忘却・忘却の冷戦－米国施政権下の沖縄における『チャイナ部隊』を事例として」

◎企画責任者：泉水英計（神奈川大学）

◎座長：泉水英計（神奈川大学）

◎報告：

・波照間陽（早稲田大学・院生）

「米軍占領初期沖縄における『チャイナ部隊』－米華関係を中心に」

・八尾祥平（神奈川大学）

「沖縄に忘れ去られた中華民国出身者への慰霊－1960年代の『チャイナ部隊』隊員の慰霊をめぐる」

◎コメンテーター：楊子震（南台科技大学）、櫻澤誠（大阪教育大学）

◇第7分科会（文学〔原住民・新移民〕） 自由論題

◎座長：下村作次郎（天理大学）

◎報告：

・倉本知明（文藻外語大学）

「移民工文学賞という試み－包摂と排除の狭間で－」

・魚住悦子（天理大学）

「19世紀末の瑯キョウ*（恒春半島）を作家たちはどう書いたか－原住民作家パタイの『暗礁』『浪涛』を中心に－」（*キョウは【王+喬】）

◎コメンテーター：山口守（日本大学）、星名宏修（一橋大学）

◇第8分科会（法学〔労働法〕） 自由論題

◎座長：林成蔚（常葉大学）

◎報告：

・根岸忠（高知県立大学）

「台湾における居宅介護労働者の労働条件保護－家事使用人への労働法の適用のあり方をめぐる議論の検討をとおして」

・張智程（京都大学）

「台湾の新集団の労働法紀元の下での法と集団的労使関係の変容」

◎コメンテーター：鈴木賢（明治大学）、宮畑加奈子（広島経済大学）

2. 第19回学術大会プログラム

*****《第Ⅲ部 13:20-15:10》*****

◇第9分科会（歴史学） 1セッション企画・主催校企画

「植民地期台湾糖業の技術革新とその課題：製糖会社のエネルギー利用・甘蔗栽培を中心に」

◎企画責任者：村上衛（京都大学）

◎座長：村上衛（京都大学）

◎報告：

・平井健介（甲南大学）

「日本植民地産業のエネルギー利用—台湾糖業を事例に—」

・都留俊太郎（京都大学・院生）

「工業化する甘蔗栽培—技術革新にみる支配と抵抗—」

◎コメンテーター：藤原辰史（京都大学）

◇第10分科会（文化人類学） 1セッション企画

「台湾の『日式建築』の現在～その意義と機能」

◎企画責任者：宮畑加奈子（広島経済大学）

◎座長：植野弘子（東洋大学）

◎報告：

・渡邊義孝（風組・渡邊設計室）

「建築士から見た、台湾日式住宅の保存と再生～「懐かしさ」と「エキゾチック」のあいだに～」

・上水流久彦（県立広島大学）

「台湾の古蹟にみる台湾の歴史認識～他地域との比較から」

◎コメンテーター：石井清輝（高崎経済大学）、宮畑加奈子（広島経済大学）

◇第11分科会（教育学・社会学） 自由論題

◎座長：川上桃子（アジア経済研究所）

◎報告：

・山崎直也（帝京大学）

「台湾に関する知のインフラ構築と大学—欧州の事例を中心に—」

・酒井亨（金沢学院大学）

「台湾若者層の「日本好き」に関する仮説：「Fancy Frontier」を中心とした大衆文化受容に着目して」

◎コメンテーター：春山明哲（早稲田大学）、所澤潤（東京未来大学）

◇第12分科会（法学・社会学） 自由論題

◎座長：富田哲（淡江大学）

◎報告：

・中川純（東京経済大学）

「台湾における障害者権利条約の国内批准と障害者雇用施策への影響」

・今井淳雄（天理大学）

「日本における台湾「市民社会」の伸張と受容—NPO法人国際ブリアーの活動を事例として—」

◎コメンテーター：蔡秀卿（立命館大学）、星純子（茨城大学）

◇第13分科会（文学） 自由論題

◎座長：池上貞子（前・跡見学園女子大学）

◎報告：

・八木はるな（東京大学・院生）

「白先勇小説における女性表象をめぐる言説の変容」

・謝恵貞（文藻外語大学）

「日本語への質問状——在日台湾人作家温又柔の文学実践を中心に」

◎コメンテーター：白水紀子（横浜国立大学）、李郁蕙（九州工業大学）

2. 第19回学術大会プログラム

***** 《シンポジウム 15:20-17:50》 *****

シンポジウム「轉型正義と台湾研究」

(会場：大会議室)

司 会	三澤真美恵（日本大学） 駒込武（京都大学）
基 調 報 告	呉豪人（輔仁大学） 「大いなる幻影に抗して——台湾の市民社会による轉型正義への試み： その理論と実践」
指 定 討 論	北村嘉恵（北海道大学） 「台湾先住民史研究の視点から」 森宣雄（同志社大学） 「沖縄民衆史研究の視点から」

*日本語による報告と討論。